



今月の記事

一日我が家

先月からの愛の園

支える人々Part II

リレーエッセイ

9～10月の予定



介護職員

那須啓子

敬老の日、笑顔の「一日我が家」

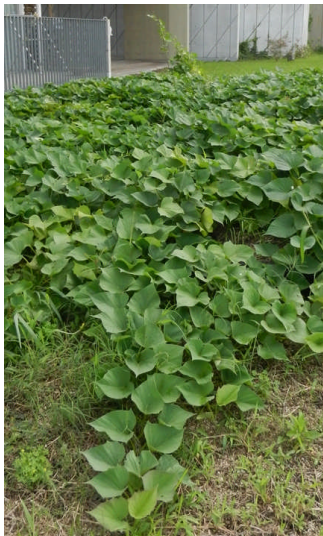
今年の敬老の日「一日我が家」は9月7日(日)に開催されました。

当日は女性の方はおめかしクラブの方々に本格的にメイクしていただき、その後にご家族と一緒に記念撮影をしました。いつもは物静かな方も「もう一度結婚できるかしら？」と輝く笑顔で話されたり、昼食の時にご家族の方からは「こうやって一緒に食事をするのは久しぶりなので嬉しいですよ。」と喜びの声もいただいたりしました。リビングには家族団欒のゆったりとした時間が流れていたように思います。

午後からは、ちんどん屋さんがチラシ配りをしてくださり、1階ホールにて家族の会と後援会のご準備による催し物が行われました。

白浜町・聖福寺の関守研悟住職による音楽法話に始まり、サークル紙ふうせんによるパネルシアター、つぼみ会によるマンドリン演奏など、今年も多彩な催し物が行われました。音楽法話では、透き通った歌声とギター、優しい語りで「春夏秋冬」の世界に引き込まれました。紙ふうせんのパネルシアターでは、童心に戻り舌切り雀のお話を楽しませていただきました。マンドリンの音色に合わせて「故郷」や「上を向いて歩こう」などを口ずさみ、あっという間に楽しい時間が過ぎてしまいました。

ご家族と入居者の皆さんがゆっくり過ごしてたくさん笑顔を見ることができ、職員も幸せな気分になった1日でした。ご協力いただいたボランティアの皆さまに感謝いたします。



愛の園のサツマイモ畑。収穫にはもう一息ですが、職員が出勤前や夜勤明け、時には休日に草刈り・水やりをして愛情込めて育てています！

先月からの愛の園 あんなこと、こんなこと



「一日我が家」で、「紙ふうせん」の皆さんがパネルシアターの「舌切り雀」を披露してくださいました。9/7



山根貞夫チャプレンが退職し、マリア会は9月から武藤園長が担当します。よろしくお祈りします。9/9



1ユニットのOさん(左)と7ユニットのMさん(右)の誕生会の様子です。どちらも職員手作りのケーキとメッセージボードでお祝いし、お二人とも素敵な笑顔を見せてくださいました。これからもお元気で！



支える人々 Part II (3) 傾聴ボランティア 濱岡裕子さん

傾聴ボランティアはお話をお聴きするボランティアです。入居者の方のお話を、否定も肯定もせず、反復してちょっと待ってお聴きします。ただただ一心にお聴きして、しっかり受け取る・・・入居者の方は心が落ち着き悩みや苦しみと和らぎ気持ちを整理することができるようになります。

お話を聴いていると、言葉の端々にその方が歩んできた長い人生の物語を感じ彷彿とさせられます。(もちろん守秘義務は守ります。) 黙っておられる時も沈黙には意味があるので、言葉以外のメッセージに注意しながら話し出されるのを待ちます。入居者の方がお疲れになるので30分間だけと決まっていますが、全く話されない方にも『あなたの存在を認めていますよ』と側に座らせていただきます。その様な方も帰る時に挨拶をすると、「ありがとう、また来てよ」と言ってくれることがあります。

聴くことに集中するため飲食物を勧められても辞退しますし、車椅子を押したりすることもしません。

京都傾聴塾南紀支部として会員は26名で、愛の園へは傾聴に毎月1回、あるいは毎週行っている会員もいます。京都から指導者に来てもらい、毎月の勉強会、また年に一度の日帰り研修にも参加して、よい聴き手になるために励んでいます。



勉強会に参加された傾聴ボランティアの皆さん



ヘルプマーク (上左・東京都)
ハートプラスマーク
(上右・ハートプラスの会)
見えない障がいバッジ
(下・わたしのフクシ)
※「編集者から」をご覧ください

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

リレーエッセイ(26) 「我が家のダビンチ」

介護職員

三栖照美

我が家の名犬は名前を呼ぶと大きな声で返事をします。「ダビンチくん。」「ワン！」その名もダビンチ。ちょっと変わった名前ですが、本人(本犬?)はいつも胸を張っています。

私との出会いは5年前。山で怪我をして迷子になっていたところを保護され、動物愛護団体を通じて我が家へやってきました。慣れないう



ちは怯えてコタツの下から出て来ず、家族に吠えたりしていました。しかし、本来持っていた優しさも手伝い、気がつけばいつの間にかすっかり馴染んでいました。

今ではすっかり家族の一員です。少々食い意地が張っていて、私がパンを食べていると強烈な視線。振り返るとダビンチのまん丸い目がふたつ・・・。私譲りの胃袋です。

家族の誰かが涙を流せば真っ先に駆けつけて顔を舐め、身体をくっつけてそばにいてくれるダビンチ。彼はいつも私達に笑顔と喜びを与えてくれます。ダビンチにしてもらったのと同じだけの幸せを彼に返したいと思っています。

これからもダビンチと共に人生を明るい色に彩っていきたいと思います。

今回は、10ユニットの岡野 晃さんにバトンタッチいたします。よろしくお願いします。

9～10月の愛の園

- 11(木) やまびこ会
- 12(金) 岩田幼稚園児敬老訪問来園
- 14(日) 日曜礼拝
- 16(火) ひまわり会
- 17(水) 手芸サークル
- 18(木) やまびこ会
- 19(金) 社協ボランティア来園
- 20(土)～21(日) 関西国際大学来園
- 21(日) 日曜礼拝
- 24(水) 歯科診療
- 25(木) やまびこ会
- 28(日) 日曜礼拝
- 30(火) マリア会 愛の園創立記念日

- 2(木) やまびこ会
- 5(日) 日曜礼拝

編集者から

東京在住の知人が「ヘルプマーク」を紹介してくれました。(左上写真をご覧ください)

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、発達障がいや難聴の方、妊娠初期の女性など、一見ただけでは援助や配慮を必要としていることが分かりにくい方々が、手助けを受けたり優先席や障がい者用駐車枠を利用したりできるよう、都営の公共交通機関で昨年からの配布されているようですが、周知が進んでいないので多くの人に広めたいとのことで伝えてくれました。

昨年ご紹介した「見えない障がいバッジ」や「ハートプラスマーク」も同様の目的で使用されています。これらのマークを見かけた時には支援できるよう覚えておきましょう。(A)